

Today's Contents



あなたならどうしますか？



ACP (advance care planning)

—人生会議—



もしバナゲームを体験しよう



ゆらぎを感じてみましょう

一緒に考えてみましょう



生存率、気になりますか？



緩和ケアの話を聞きたいですか？



損失状況って？（行動経済学）

Q どちらを選びますか？

あなたはがんと診断され、医師からAとBの治療を提案されました。

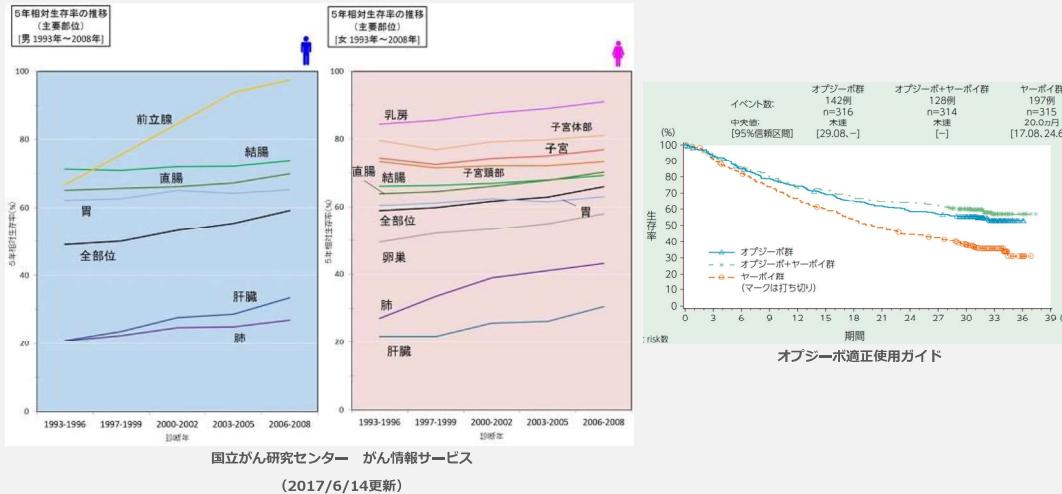
- A) 「この治療の5年生存率は80%です。」
- B) 「この治療の5年生存率は10%です。」

あなたが選んだ選択肢 (A / B)

なぜ、それを選んだのですか？

生存率

- 多くの集団での傾向や、2つ以上の治療の比較などで参考とすることができる。



Q どう思いますか？

医師と相談して、治療が決まりました。

医師「この治療Aの5年生存率は80%です。」

患者X「5年後に生きている可能性は80%もあるんだから、会社の継承は、ゆっくり進めていったらいいな。」

患者Xの考えは、あなたにとって (理解できる / 理解できない)

なぜ、そう思ったのですか？

Q どう思いますか？

医師と相談して、治療が決まりました。

医師「この治療Bの5年生存率は10%です。」

患者Y「・・・。(5年後に生存している可能性はほとんどないし、お金を残しておいてもしょうがないな。)」

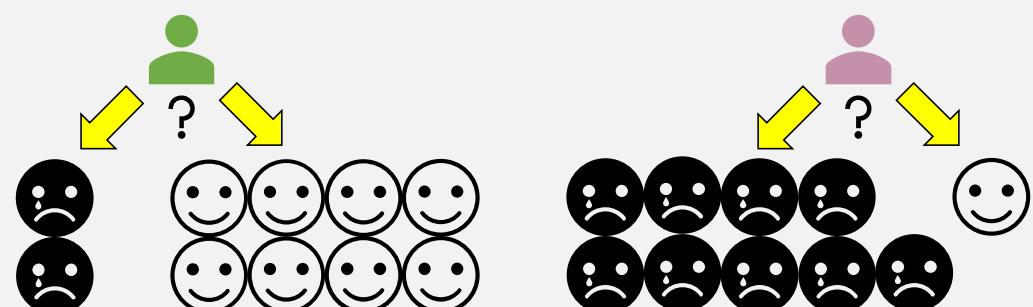
患者Yの考えは、あなたにとって (理解できる / 理解できない)

なぜ、そう思ったのですか？

生存率

・個人一人を取り上げてみれば、1年生存率は0%か100%、3年生存率も0%か100%、5年生存率も0%か100%。

・つまり、集団の5年生存率が高くても楽観はできないし、低くても望みがない訳ではない。

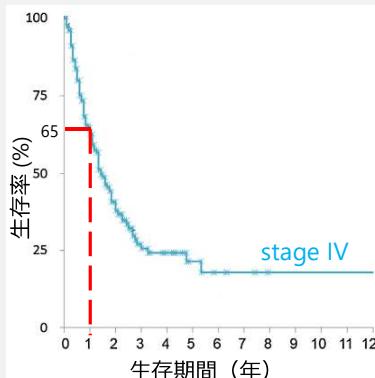




Q どう思いますか？

あなたは悪性黒色腫で、遠隔転移のあるstage IVと診断されました。これから抗がん治療を始めるところです。

この状況で、医療従事者から緩和ケアの話をしておいてもらいたいですか？

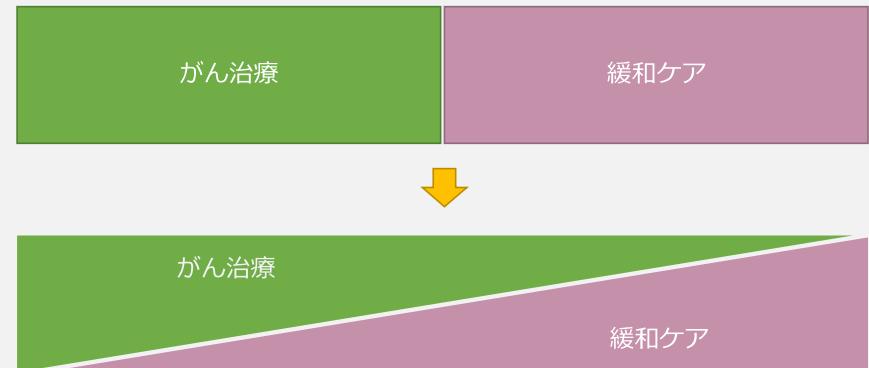


この状況で、緩和ケアの話を
(してほしい / してほしくない)

なぜ、そう思ったのですか？

重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるよう支援していくケア

日本緩和医療学会『市民に向けた緩和ケアの説明文』



サプライズクエスチョン

「この患者さんが1年内に亡くなったら驚きますか？」
→ もし、驚かないなら、緩和ケアを開始した方が良い。
しかし、目の前の患者さんがどのような経過をたどるのか、見極めることは困難である。
→ 緩和ケアをお話しする時期の判断は難しい・・・。



緩和ケア?
サポートイブケア?
延命治療?
最期の治療?

Q どちらを選びますか？

- A) 確実に1万円もらえる
- B) コインを投げて表なら2万円もらえる。裏なら何ももらえない

あなたが選んだ選択肢 (A / B)

Q どちらを選びますか？

- | | | |
|-----------------------|---------------|--------------------------|
| | A) 確実に1万円もらえる | B) 表なら2万円もらえる、裏なら何ももらえない |
| C) 確実に1万円失う | リスク回避的 | |
| D) 表なら何も失わない、裏なら2万円失う | | リスク愛好的 |

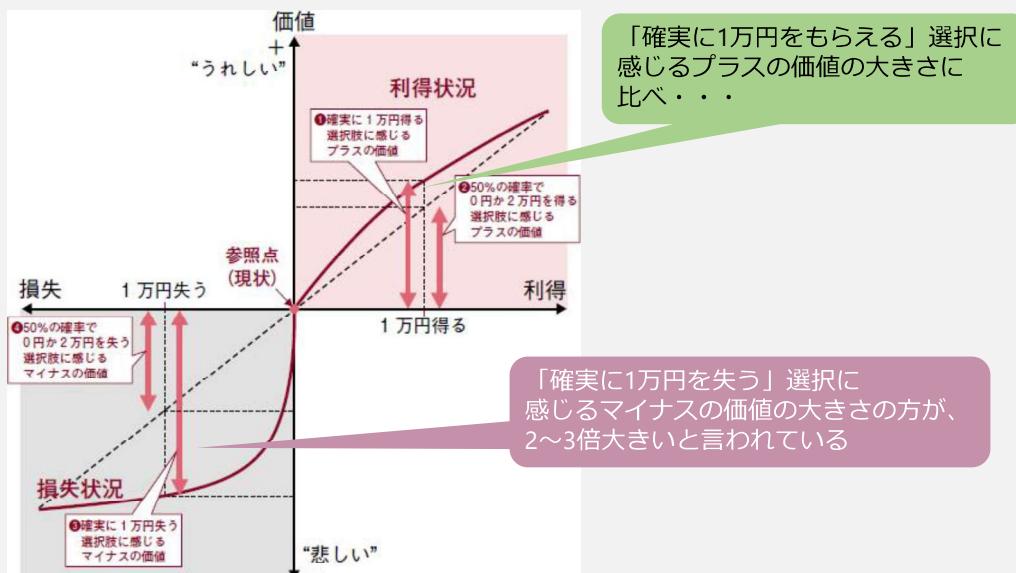
もらえる状況（利得状況）と失う状況（損失状況）で選択する傾向が変わることがある。

Q どちらを選びますか？

- A) 確実に1万円もらえる
- B) コインを投げて表なら2万円もらえる。裏なら何ももらえない
- C) 確実に1万円失う
- D) コインを投げて表なら何も失わない。裏なら2万円失う

あなたが選んだ選択肢 (C / D)

プロスペクト理論



Q どちらを選びますか？

医師「病状が進行していますが、これ以上の治療はお勧めできず、緩和ケアを主体とされるのはいかがでしょうか。治療③もありますが、10%くらいの確率でがんの進行を遅らせる程度であり、副作用により逆にお体が辛くなる可能性があります。」

C) 抗がん治療を終了する

D) 治療③を行う

あなた自身の状況であれば、どれを選択しましたか？（ C / D ）

なぜ、それを選んだのですか？

損失状況では

プロスペクト理論によると、

- ・「QOL（生活の質）を保ち、残された時間を有意義に使う」という利得よりも、
- ・「積極的治療をやめることで、確実に病気が進行する」という損失の方が、価値が大きく感じられてしまう。

損失回避

損失を避けるために、リスクがあるとしても現状維持の可能性のある（リスク愛好的な）選択肢を選びやすくなる。

Q どちらを選びますか？

C) 抗がん治療を終了する→確実にがんは進行する
= 確実に1万円失う

D) 治療③を行う→10%で現状維持、それより高いと思われる確率でがんが進行し、さらに副作用で苦しむ
= コインが表なら何も失わない。裏なら2万円失う

先程のお金失う状況と、選択肢は変わりましたか？

Q どちらを選びますか？

医師「病状が進行していますが、これ以上の治療はお勧めできず、緩和ケアを主体とされるのはいかがでしょうか。治療③もありますが、10%くらいの確率でがんの進行を遅らせる程度であり、副作用により逆にお体が辛くなる可能性があります。」

C) 抗がん治療を終了する

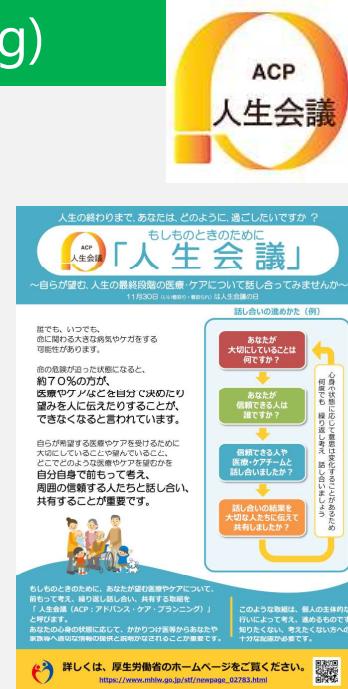
D) 治療③を行う

あなたの大切な人の状況であれば、どれを選択しましたか？（ C / D ）

なぜ、それを選んだのですか？

ACP (advance care planning)

- ACPとは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、**繰り返し話し合い、共有する取り組み**のことです。
- ACPは必ずしも死を前提としたものではなく、あらゆる年齢や健康状態の人が対象です。
- 愛称が「人生会議」となりましたが、1回で終わらせるものではなく、そこで何かを決めないといけない訳でもあります。



ゆらぎ

人間はひとくきの葦にすぎない。自然のなかで最も弱いものである。だが、それは**考える葦**である。

一パスカル、『パンセ』（一部略）、17世紀

ある日、櫻の木が葦に言った。

「君にとってはどんな風も疾風だけど、僕にはそよ風に過ぎない。」

葦は答えた。

「ご心配なさらずに。私はたわむから折れないんです。」

葦がそう言ったとき、北風は疾風という一番暴れん坊の風の子たちをお腹に孕んで駆けつけて、ここで一気に産み落とした。風はあらん限りの力を出したので、櫻の木は根っこからもげた。

一ラ・フォンテーヌ、『櫻の木と葦』（一部略）、17世紀

多様性、ゆらぎ

- 自分の考え方と他の人の考え方の違い → **多様性**
 - 「リスク愛好的」、「リスク回避的」などの傾向は、状況によって変わること。また、「自分自身の状況」、「自分以外の人の状況」によっても変わること → **ゆらぎ**
- を感じて頂けましたでしょうか。

健康な時、病気となった時、病気が進行した時、死を考えた時、など、様々な場面や状況で意思は変化します。

さらに、周囲の環境や他人の意見にも影響を受けます。

ゆらぎ

人間はゆらぐものと考えられます。

そのため、様々な場面で意思を決定しても、その意思が必ずしもそのままでずっと継続するわけでもなく、また、変化してはいけないというわけでもありません。

ACP（人生会議）は1回話し合って終わりというものではなく、その人の人となりを知るために普段から色々なことを話して、聴いて、考えておくのがいいと考えます。

もしバナゲームを体験しよう



縁起

- ①物事の吉凶の前兆。きざし。前ぶれ。「ーがよい」
- ②社寺の起源・由来や靈験などの言い伝え。また、それを記した文献。「石山寺ー」
- ③事物の起源や由来。
- ④『仏』因縁によってあらゆるもののが生ずること。

『大辞林』

「因縁生起」

一切法は因縁生なり（全てのものは因縁によって生じる）

縁起

「因縁果の道理」

どんな結果にも、必ず因と縁がある

因



種粒



果



収穫

縁



水



土



太陽



因



皆様それぞれ

果



素敵な人生

縁



人とのつながり



本



もしバナゲーム



果



素敵なお人生

